

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語演習B
科目基礎情報					
科目番号	55	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学専攻	対象学年	専1		
開設期	後期	週時間数	1		
教科書/教材	『Thoughts into Writing』、Masako Sakamoto (ほか著 (成美堂))				
担当教員	板谷 洋一郎				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生レベルの英文ライティングを学び、文字によるコミュニケーション能力を向上させることができる。 ・ライティングのモデルを読んで、パラグラフや全体の構造が理解できる(リーディング)。 ・本文(英文)で取り上げられている文法事項・表現が理解できる。 ・論理構成を意識したライティングができる。 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	モデルを読んで、パラグラフや全体の構造をよく理解することができる。	モデルを読んで、パラグラフや全体の構造をある程度理解することができる。	モデルを読んで、パラグラフや全体の構造を理解することができない。		
評価項目2	テキストで取り上げられている文法事項・表現がよく理解できる。	テキストで取り上げられている文法事項・表現がある程度理解できる。	テキストで取り上げられている文法事項・表現が理解できない。		
評価項目3	手順に従って、まとまりのあるライティングができる。	手順に従って、まとまりのあるライティングがある程度できる。	手順に従って、まとまりのあるライティングができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	段階的にパラグラフ・ライティングを学び、論理構成を意識したライティングの練習をする。最終的には、パラグラフを発展させ、標準的なエッセイが書けるように練習する。				
授業の進め方・方法	テキストに沿う形で、パラグラフ・ライティングの演習を行う。随時プリントを配布する。				
注意点	授業に積極的に取り組み、自らの英語力向上に努めること。そのために、予習・復習をしっかりと行うこと。本科目は、授業時間30時間に加えて、自学自習時間15時間が授業の前後に必要となる。具体的な学修内容は、授業計画を参考に、各週、学習内容の予習に30分～60分、復習に30分～60分を目安に予習・復習を行うこと。紙辞書または電子辞書を毎回持参すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・Unit1 Pre-writing	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		2週	Unit2 Drafting	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		3週	Unit3 Revising/Proof-reading	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		4週	Unit4 Narratives: Traveling in Kauai	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		5週	Unit5 Description: Hirota Ototake	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		6週	Unit6 Classification: Individuality Emphasized in Exams	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		7週	Unit7 Contrast: The Differences between Dogs and Cats	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		8週	Unit8 Problem Solving: Ways to Release Stress	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
	4thQ	9週	Unit9 Cause and Effect: The Status of Japanese Women	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		10週	Unit10 Personal Opinion: Mr. Bean	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		11週	Unit12 E-mail Messages	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	
		12週	Unit14 Writing a Movie Review	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、短いライティングができる。	

		13週	Unit11 Essay Writing (1): Learning How to Write an Essay	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、長めのライティングができる。
		14週	Unit11 Essay Writing (2): Writing an Essay	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、長めのライティングができる。
		15週	レポート執筆に向けた総復習、Q&A セッション	既習学習事項が理解でき、その振り返りができる。
		16週	レポート提出	既習学習事項が理解でき、その応用ができる。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0